

リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○永見慎輔 nagami@hoku-iryo-u.ac.jp 鈴木瑞恵 飯泉智子

【概要】

摂食嚥下障害に関する研究法を臨床的実践を通して習得する。

【学修目標】

一般目標：摂食嚥下障害の病態、治療に関するリハビリテーションを最新研究と関連させて実践できる。

行動目標：

1. 摂食嚥下リハビリテーションに関する最新の研究について文献を参照し、解釈できる。
2. 摂食嚥下障害の病態、検査、治療に関する論文と、実際の臨床上の課題を結びつけることができる。
3. 摂食嚥下障害の病態、検査、治療に関する論文を基にディスカッションをおこない、レポートにまとめ、プレゼンテーションをおこなえる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	演習の概要、スケジュール、購読すべき文献を提示し、今後の進め方を説明する。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子
2~13	摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害の病態、検査法、治療法に関する論文購読、検査機器を用いた演習を行う。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子
14・15	まとめ	レポートの提出、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。	永見慎輔 鈴木瑞恵 飯泉智子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート作成ならびにプレゼンテーション（70%）

演習成績（30%）

【教科書】

指定しない。学術雑誌、論文を指定する。

【学修の準備】

1. 関連する文献、参考書を読み予習しておくこと（80分）。
2. 配布プリント、参考書で復習し理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

永見慎輔、鈴木瑞恵、飯泉智子（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

永見慎輔、鈴木瑞恵、飯泉智子：医療機関における臨床業務経験および大学における教育・研究経験をもとに講義を行う。